

こぞあ



ありがとう  
ずっとともだち  
大すきだ

標語：「ありがとう ずっとともだち 大すきだ」

栃木市 大平隣保館



## 人権作文

### 「勇気を持って」

大平南小学校 六年



戸野塚 とのつか

文斗 あやと

ぼくは、友達のことをからかう人、笑い者にする人を見ることがあります。前に教室でこんなことがありました。ある友だちが何も悪いことをしていないのに、からかわれ、笑われ、責められていました。言われている子の顔は悲しそうで、下を向いてだまっていました。ぼくはそれを見ていたのがいやで、

「いじめるんじゃないよ。やめな。」

と大きな声でどなってしまいました。教室の中は少し静かになりました。その様子を見ていた先生が、「文斗、よく言った。これからも期待しているぞ。」

と喜んでくれました。ぼくはその言葉がうれしくて、今でもはっきり覚えています。心の中でほっとし、クラスがよくなるように少し役に立てたんだと自信を持ってました。からかわれていた友達もその後は落ち着いて過ごしています。

前のぼくは、人に注意できる人ではありませんでした。前のクラスは、やんちゃな子もいれば、大人しい子、静かな子もいました。ある時転校生が入ってきて、その子がかかわれているように思いました。この学校や町のことをよく分かっているんだらうから、慣れるまで大変だったと思います。その子が慣れないこと、みんな目について、

つい言ってしまったんだと思いました。その子に笑顔はなく、学校に来るのが楽しいと思っているのかなと心の中で心配していました。でも何と云っていいのか分からなかったし、どうしていいのか分かりませんでした。その子は今では友だちも増え、元気そうにしています。あの時声をかけられなかったことが残念です。

どうすれば、いじわるを止めることができるのか。みなさんはどう思いますか。学校で弱い人への「死ね」「消えろ」「ブス」軽い気持ちで言つて、相手を傷つけてばかりいたら、いじめは消えないと思います。相手の気持ちを考えることが必要だと思います。ぼくも前によく一人の子にからかわれたり、いやがらせをされていました。なのでやられている人の気持ちがあります。自分がかされていやなことは、人にしてはいけないと思います。人を傷つけていいことは決してありません。み

んな一人一人がいじめ、からかい、差別はいけないと思っていれば、学校は変わっていくと思います。そしてたら人と人の心が元気につながって、学校でいじめゼロになると思います。

例えばいじめゼロに向けて、学校でいじめゼロポスターというものを子どもたちに作ってはり出すといいと思います。学校の廊下や階段、教室にはっておけば、みんなが心がけてくれると思います。

最後にぼくは、いじめゼロの小学校になるように、勇気をもって声かけや注意をしていきたいと思っています。そしてみんなが笑顔でいられる小学校にしたいです。



## 「虐待」にひびきとる子どもたち

大平南中学校 三年



中田 なかだ 真由花 まゆか

「最近こういうニュース多いよね。」

朝、テレビのニュースを見ながら母が言った。朝ごはんを食べながら私もテレビに目を向けると、そこには、「幼児虐待」の文字。ああ、またか。私もそう思った。でも私は、見慣れてしまったその言葉を特に気にとめることなく早めに着替えて家を出た。いつも通り通学路を自転車で通る。歩道にはたくさんのお小生。しょうがな

いか、と思いながら車道側を走る。そのとき私は、ふと考えた。ここにいる小学生たちは、ニュースのように虐待を受けていないだろうか。そんなはずはないと思うたけれど、考えてみたくなった。私たちのイメージだと虐待は目に見えるもの。たとえば、決定的なアザや、ヤケドといったケガ。でも、それ以外に原因があるとしたら？そんなことを考えていればいつの間にか学校は目の前。6時間みっちり授業を受けて、部活の時間。「ねえ、今日のニュース見た？虐待だつて。ひどいよねー。」誰かがそう言った。それに賛同してみんなも頷く。でもやっぱり誰ひとりこれといって気に留める人はいなかった。私と同じように。

これでいいんだろうか。なんとなく胸の中がモヤモヤする気がした。「虐待」そんな醜い言葉が、当たり前のように飛び交ってしま



う。ニュースで取り上げられても深く考えようとは思わない。それは自分の身近に起きたことではないからだ。私は朝の続きを考えてみることにした。決定的な証拠がない虐待。だとしたらそれは、言葉によるものではないか。身体に傷を負っていなくても、心に傷を負っていれば、それは虐待ではないか。実際にそんなことが起きているかは分からない。でもそれもあるような気がした。また、虐待を受ける子どもが幼ければ幼いほど発覚するリスクが少ないのではないかと考えた。たとえば生まれて一年も経たない乳児であれば、泣くことしかできず、周りもそれをあまり不審に思わないのではないか。単純な考えではあるが、今の私にはそう考えることしかできなかった。

なぜ虐待が起きるのか。一つは子どもを育てる大変さもあるのだろう。私の周りにも子育てをして

いる人たちがいる。私もそれを見ながら、大変そうだな。と思った。でもその不満の矛先を子どもに向けてはいけない。この問題をどんなに悩んでも正解は出ないだろう。でも悩んでみることで新たな発見があることに気づいた。『虐待』とはなにか。今は少し難しいけど、ここで発見したことは、将来、私が親になったとき生かせるだろう。

私はテレビをつけた。また、虐待についてのニュースが流れていた。



## 【人権啓発活動】

◎「人権セミナー」が開催されました

部落解放同盟栃木市協議会主催による人権セミナーが、8月19日(日)大平文化会館にて開催されました。

開催月の8月は人権教育啓発推進県民運動強調月間で栃木市協議会では毎年、被差別者やマイノリティはじめ人権問題に取り組む当事者を講師として招き人権セミナーを開催している。

今回は講師に、ジャズシンガー綾戸智恵氏を迎え、「家族との関わり」〜母として・娘として〜をテーマとして講演をいただきました。認知症を患い要介護5になった母との毎日の体験やエピソードなどユーモアを交えて語り、「絆をつくる家族は他人とつくる」と結んだ。

主催した栃木市協議会川田議長は、人権セミナーを毎年開催することにより「多くの市民と様々な人権課題を共に考えることができる」と述べました。

# 「人権を考える市民の集い2018」を開催します

人権尊重のまちづくりを推進するため、「人権を考える市民の集い2018」をつぎのとおり開催いたします。

講師に、日本ギニア友好協会広報官オスマン・サンコン氏を招いての講演をメインに、市内小学生の人権書道や人権絵画コンテストの作品展等をホワイエにて展示するほか、オープニングでは栃木女子高等学校コーラス部による合唱が行われます。



講師のオスマン・サンコン氏

◎入場無料ですので、お気軽にお越しください。

◆日時 平成30年12月8日(土)  
 開場 午後1時  
 オープニング 午後1時25分  
 開会 午後2時

◆場所 栃木文化会館 大ホール  
 ◆定員 1200人(先着順)  
 ◆講師 オスマン・サンコン氏  
 ◆演題 「みんな違ってみんないい」

※入場無料(申込不要)  
手話通訳・要約筆記あり

◆問合先 人権・男女共同参画課

電話 (21) 2161

## ◎人権擁護委員による特設相談

人権週間に合わせて、市内各所にて人権擁護委員による人権相談窓口をつぎのとおり開設します。  
どうぞ気軽ににご相談ください。  
相談は無料、秘密は守られます。

### ◆日時及び会場

- ① 12月4日(火) 午前10～12時  
厚生センター・大平隣保館  
岩舟総合支所会議棟
- ② 12月6日(木) 午前10～12時  
西方保健センター
- ③ 12月12日(水) 午前10～12時  
藤岡公民館



人権イメーজキャラクター  
人権はみんなのちから

# 隣保館事業の案内

## ◎HAPPY生き生き塾

HAPPY生き生き塾は、60歳以上の方を対象に、レクリエーションや教養・文化活動など様々な講座を通して、心身ともに健康で明るく過ごすことを目的に、6月から毎月1回開催しています。

8月には現地学習として、栃木市の魅力を再発見しようと、市内各所で研修をしました。



三県境でぐるり一周三県早回り

## ◎「草花のアレンジをしよう」を開催中

10月17日(水)から全3回の短期講座「草花のアレンジをしよう」を開催しました。花センターの職員の方を講師に迎え、第二回は「季節の寄せ植え」を行いました。参加者は講師の指導のもと和気あいあいと作業を進め、思い思いに素敵に仕上がった寄せ植えに大満足していただきました。



きれいな寄せ植えができました

## ◎ふれあい交流会

榎本集会所をメイン会場にして毎月第3金曜日に開催している「ふれあい交流会」は、10月19日で239回を迎えました。毎年10月の「ふれあい交流会」は南第2保育園にて、ミニ運動会を行っています。園児たちの上手なダンスを見たり、一緒に競技をしたり、お弁当と一緒に食べながらおしゃべりしたりと楽しいひと時を過ごしました。





# 夏休みの児童たち

## 「サマー学習室」を開設しました。

7月の夏休み期間中、大平隣保館多目的ホールを夏休みの宿題や受験に向けた勉強ができるよう開放しました。

真剣に勉強中！



## 「暑さに負けず スマイルボウリング」



残念ストライクにならず

8月10日(金)にスマイルボウリングを開催しました。

スマイルボウリングはボウリングをアレンジした新しい形式のスポーツで、投球位置からゲートを通過させてピンを倒し、10本のピンを全て倒すまでにかかった投球数の少なさを競うゲームです。

子どもたちも元気にピン目がけて真剣に投球しました。

## とちぎ子どもの 未来創造大学出前講座

### 「発明王エジソンの秘密」



蓄音機に興味津々

8月26日(日)におもちゃのまちバンダイミュージアムさんの出前講座がありました。今回は、だれもが知っている発明王エジソン、その本物の発明品(電球・蓄音機等)の実演を通じて、エジソンの子供時代からどのようにして偉大な発明家となったのか、エジソンの考え方や生き方を学ぶとともに、発明品の原理や現在の生活にどのように活かされているかを学びました。

## 大平隣保館「新春書初め会」参加者募集!

市内在住の中学生以下を対象に、書初め会を開催します。  
皆で集り、気持ちを集中し、テーマに沿って書初めを行います。  
みなさんの参加をお待ちしております。



- ・日 時 平成31年1月5日(土) 午前10時～11時半
- ・場 所 大平隣保館 多目的ホール
- ・持って来る物 習字セット(大きい下敷き) 墨汁 新聞紙
- ・課 題 幼児/好きなひらがな  
小1/「えがお」 小2/「しんせつ」 小3/「なかよし」  
小4/「大切な命」 小5/「友達の輪」  
小6/「一視同仁」 中学生/「人権尊重」
- ・講 師 石原 幸子 氏
- ・申込受付 12月3日(月)～

\*お手本が必要な人は大平隣保館  
事務室に用意してありますので、  
お声かけ下さい。



じょうずに書けたよ

## 『第70回 人権週間』

世界人権宣言の採択を記念し、国内では1949年(昭和24年)から毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日～10日まで)を「人権週間」と定めています。

皆さんもお近くの催しに参加して、「思いやりの心」や「かけがいのない命」について、もう1度考えてみませんか?

「みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～

みんなの人権110番 0570-003-110





# 集会所事業

8月10日から24日まで、大平の集会所5館において、大平地域の小学生を対象に「親子仲よし料理教室」を開催しました。健康料理 研究者・栄養士の青木恵美子さん のご指導のもと、カップすし・海藻のお吸い物・キラキラゼリーを 作りました。親子で楽しいひと時 を過ごすことができました。



10月3日(水)大平5集会所の料理教室が合同で野外研修を行いました。カルビー清原工場ではかっぱえびせんとシリアルの製造工程を、大谷資料館では大谷石の採掘 場跡での昔の採掘・運搬の苦労 や、現在は撮影や結婚式など多様に使われていることを学び、充実 した研修ができました。



## ◎藤岡集会所「こどもの広場」

藤岡の都賀・富吉集会所で開催 の「こどもの広場」の講座では、7月に紙芝居とスイカ割りを開催 しました。グループ対抗のスイカ 割りでは、班長さんの指示のもと 見事にスイカをたたくことができ ました。その後に食べたスイカの 味も格別で楽しんでいただけまし た。



## 厚生センターからの活動報告

### 【厚生センター自主講座】

8月18日(土)、小学生を対象に夏の交流事業を実施しました。元気に集まってくれたお友だちと一緒に牛乳パック工作作り、やさしい人権のお話、お食事会、輪投げ、本の読み聞かせ、ビンゴ、ヨーヨーつりなどをして、楽しい一日を過ごしました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



9月27日(木)、厚生センター利用者等(35名)による【国立ハンセン病資料館(東京都東村山市)、三島食品株式会社(埼玉県坂戸市)外】地域交流研修会を実施しました。

午前中は坂戸市の三島食品株式会社に寄り『ゆかり』等ふりかけ製品の製造過程を見学し、昼食は所沢市の割烹・手打ちうどんちとせで手打ちうどんを満喫しました。午後は東村山市の国立ハンセン病資料館を訪ねました。

最初にハンセン病に関するガイダンスビデオを視聴したのち、館内の展示を見学しました。ハンセン病に関する歴史や正しい知識について学ぶことができ、大変有意義な研修であったと思います。ご協力ありがとうございました。





# 厚生センターからのご案内

**厚生センター恒例、冬の交流事業を今年も開催します。  
たくさんのお友だちの参加をお待ちしています♪**

と き：12月22日(土) 10:30～14:30

と ころ：厚生センター(栃木第四地区コミュニティセンター)～下記案内図～

対象者：市内小学生(ただし、未就学児参加の場合は保護者同伴)

内 容：★手作りスノードームを作ろう！

★ビデオ上映

★お食事会

★輪投げ名人に挑戦！

★ビンゴ大会など



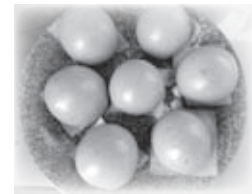
**厚生センター自主講座：炭酸まんじゅう作りを開催します。**

日 時：12月27日(木) 9:30～12:00

場 所：厚生センター(栃木第四地区コミュニティセンター)

定 員：10人(市民：初心者対象)

参加費：400円程度(変動あり)



※詳細については、市の広報やホームページでもお知らせをしています。ぜひ、ごらんください。



■厚生センター 栃木市旭町9-7 ☎24-2444





### 相談事業のご案内

大平隣保館では、市民を対象に日常生活における様々な困りごとに関する相談を常時受付けております。

どこに相談したらよいのか分からない場合でも、お気軽にご相談ください。隣保館で対応するほか、ご相談内容に適した機関等をご紹介します。

### 法律相談

2か月に1回、日常生活における法律全般に関する困りごと等について、弁護士の方が相談に応じます。

今後の相談日は次のとおりです。相談は予約制ですので、希望される方は事前に大平隣保館へご連絡ください。

◎相談日時 1月17日(木)

3月20日(水)

午前10時～正午まで

※相談時間は20分です。

### 日本語講座

大平隣保館では、外国人を対象とした日本語講座を開講しています。特に予約は必要ありません。料金は無料です。

ぜひ、ご利用ください。

◎講座開催日

原則第1・2土曜日

### 児童・生徒の利用時間変更のお知らせ

児童・生徒の安全確保等のため、利用時間を下記のとおり変更します。

◎期間：平成30年11月12日(月)～平成31年 1月11日(金)

◎多目的ホール…午後4時20分まで

◎ロビー… 午後4時30分まで

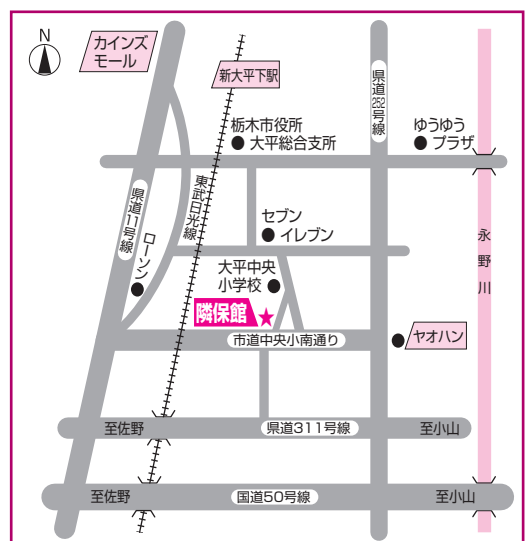
### 生活相談や困りごとは大平隣保館へ

電話での相談はフリーダイヤルで

よろしく なやみなし

0120-46-7830

(平日午前8:30から午後5:00まで)



表紙絵 絵手紙作家 根本晴夫さん  
標語 大平南小学校2年 小林優斗くん